

品詞認定に対するコーパス利用の貢献

石塚 直子

キーワード：国語辞典、コーパス、品詞認定、複合名詞、サ変

要 旨

本稿は、「子育て」「値下がり」のような「名詞+和語動詞連用形」型複合名詞の研究が、日本語学研究の観点のみならず、国語辞典編集に対しても寄与するところを提示する。具体的には、現在の国語辞典における、「名詞+和語動詞連用形」型複合名詞の品詞認定（「名詞」あるいは「名詞・サ変」）のラベリングが実態と合っているか、現状の国語辞典の品詞認定で本当にこれらの複合名詞の用法がカバーできているかについて検討を行う。そして、品詞認定を適切に行うためにはコーパスを用いた実態調査が必須であることを確認し、その調査結果を基に、「名詞+和語動詞連用形」型複合名詞の「品詞認定モデル（「サ変」および「名詞」表示の目安）」を提案する。

1. 本稿の目的

本稿では、(1)のような「名詞+和語動詞（連用形）」型複合名詞（以下「NV 型複合名詞」）^{*1}を対象とする^{*2}。

- (1) a. 子育て, 値下がり, 山越え, 姿見
- b. 子育てする, 値下がりする, ??山越えする, ??姿見する

*1 NV 型複合名詞の後項は和語の動詞連用形の場合に限り、「言語研究」のような漢語の NV 型複合名詞は取り扱わない。なお、前項の名詞については、ひとまず語種を限定しないこととした。

2 本稿では、石塚(2011)のコーパス調査により用例がみられない(=用例 0)ものを「??」と示すこととする。「」としないのは、今回の調査では用例がみられなかっただけで、実際に使用されている可能性も考慮したためである。

c. 子育てをする, ??値下がりをする, 山越えをする, ??姿見をする

本稿の目的は、国語辞典の品詞認定のずれや記述の妥当性の観点から、NV 型複合名詞研究が国語辞典編集に寄与するところを提示することである。具体的には、NV 型複合名詞における、現在の国語辞典の品詞認定（「名詞」「名詞・サ変」）のラベリングが実態と合っているか、現状の国語辞典の品詞認定で本当に NV 型複合名詞の用法がカバーできているか等について検討を行う。そして、品詞認定を決定するためには、コーパスを用いた実態調査が必須であり、そしてその調査結果から「品詞認定モデル（「サ変」および「名詞」表示の目安）」を提案する。

2. NV型複合名詞研究

本稿は、NV 型複合名詞に「スル」「ヲスル」*3 がつくかどうかという用法を基準に、表 1 のような 4 分類を想定している*4。

【表 1】NV 型複合名詞の「スル」「ヲスル」の用法と分類*5

本稿における現象の名付け	NV型複合名詞 +スル	NV型複合名詞 +ヲスル	例 （(1)より）	国語辞典で想定される 品詞認定
分類Ⅰ スル専用型	○	??	値下がり	名詞・サ変
分類Ⅱ スル・ヲスル兼用型	○	○	子育て	名詞・サ変
分類Ⅲ ヲスル専用型	??	○	山越え	名詞
分類Ⅳ スル・ヲスル不用型	??	??	姿見	名詞

*3 本稿において、「ヲスル」とは NV 型複合名詞に「ヲスル、ガスル、ニスル」をつけることが可能なものことである。本稿では、これらの形を「ヲスル」で代表させる。なお、今回は「ヲ、ガ、ニ」という文法格を中心とし、それ以外の格については今後考えていきたい。

*4 NV 型複合名詞に関する先行研究には、影山(1993)(1999)、伊藤・杉岡(2002)がある。彼らは、NV 型複合名詞を「モノ名詞」「デキゴト名詞（単純事象）」「デキゴト名詞（複雑事象）」と 3 つに分類しているが、本稿は用法による 4 分類にした。

*5 石塚(2013)【表 1】を改訂。

表 1 より、分類 I・II にあたる「値下がり」「子育て」のような NV 型複合名詞は「スル」がつくのでサ変と認定され、他方分類 II・III にあたる「子育て」「山越え」のような NV 型複合名詞は「ヲスル」がつくので名詞と認定される。分類 IV にあたる「姿見」は、「スル」「ヲスル」はつかず、「姿見が倒れた」のように「格助詞のついた一般的な名詞用法」を持つため、品詞認定は「名詞」とされる。なお、「格助詞のついた一般的な名詞用法」を持つことは、分類 I～III にも当てはまるので、結果、分類 I～IV はすべて「名詞」と品詞認定される。

ただし、この時少なくとも 2 つの問題が生じている。1 つは、NV 型複合名詞に「ヲ一般動詞」がつく場合（「格助詞のついた一般的な名詞用法」と「ヲスル」がつく場合（「ヲスル」用法）とをひとしなみに、「名詞」という同じ品詞認定で扱ってもよいかという問題である。もう 1 つは、分類 II・III がはっきり 2 つに分けられるわけではなく、中間的なものも多く、それをどちらに分類するかという問題である。これらの中間的なものについては、従来辞典執筆者によって直感で決定され、品詞認定が行われてきたため、例えば 3 節でみるように、NV 型複合名詞が辞典により異なる品詞認定をされている。このような国語辞典の品詞認定が、コーパス調査の結果と一致しないことはすでに楊(2010)が漢語の自他認定について指摘している。本稿でも、国語辞典の品詞認定と実態調査とのずれが、漢語の自他認定だけではなく和語の NV 型複合名詞でも共通し、起こっていることを示す。

以上を踏まえ、本稿では、いくつかの語について、コーパスによる実態調査と国語辞典とのずれを示し、NV 型複合名詞の品詞認定（「名詞」「名詞・サ変」）の基準が、より現実的な使用実態に基づくべきであることを述べる。さらに、今後の国語辞典を考える上で、コーパス調査の結果をどのように活かしていくか、4 節で構想を示す。

3. 現在の国語辞典の品詞認定およびコーパス調査とのずれ

本稿で扱う NV 型複合名詞は、石塚(2011)の「NV 型複合名詞データベース」*6

*6 「NV 型複合名詞データベース」は、『明鏡国語辞典』（2003）の見出し語に立項されている NV 型複合名詞 1845 語に「スル」「ヲスル」がつくかどうか、「新聞」（『毎日新聞』1999 年から 2007 年までの 9 年間分）をコーパスとして用いて調査を行い、作成したものである。

から抜粋した 106 語である*7。

3.1. 各国語辞典における品詞認定のずれ

楊(2010)は自他両用の漢語動詞が国語辞典によってどのように自他の認定がされているのかを調査し、自他認定の一致率を出している。楊(2010)では、3つの国語辞典での自他認定の一致率が 29.5%である（すなわち一致していないものが 70%以上である）ことを示し、国語辞典の自他認定にはゆれがあると指摘した。

本稿も、楊(2010)で行われた手法*8を参考に、NV 型複合名詞 106 語の品詞認定を 3つの国語辞典で確認した。その結果、3つの国語辞典における NV 型複合名詞の品詞認定（「名詞」「名詞・サ変」）が一致しているかどうかは図 1 のようになった。



□品詞認定が 3 辞典すべてで一致している語数 ■品詞認定が 3 辞典で一致していない語数

【図 1】3つの国語辞典すべてで一致している/一致していない語数および比率

図 1 より、3つの国語辞典での、NV 型複合名詞の品詞認定の一致率は、一致していない語の方が一致している語よりも多く、楊(2010)の漢語の自他認定の場合よりも低い率（約 17%）を示しており、NV 型複合名詞が「名詞」か「名詞・サ変」か、という品詞認定の判断が、各国語辞典間で揺れていることがわかる。

3.2. 実態調査（コーパス調査）と国語辞典における品詞認定のずれ

品詞認定が 3 辞典ですべて一致している NV 型複合名詞 18 語の実態調査の結果が表 2 である。

*7 本稿は、「スル」が 30 以上つく用例がある NV 型複合名詞 106 語を取り扱う。ここで「30 以上」としたのは、調査を行った際アクシデンタルに捨てしまった用例ではないということを保証する数であると判断したためである。

*8 本稿が NV 型複合名詞の品詞認定を調べる際に使用した国語辞典は、楊(2010)と同様である。なお、最新版を用いた。

【表2】品詞認定が3辞典で一致しているNV型複合名詞

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
NV型 複合名詞	スル	ラスル 合計 (C=D+E+F)				述語用法中の スルの割合 (G=B+(B+C))	述語用法中の ラスルの割合 (H=D+(B+C))	NV 総数	スル占有率 (NV総数) (J=B+I)	述語用法 の割合 (K=(B+C)+I)	3辞典での 品詞認定
1 裏打ち	40	1	1	0	0	97.6	2.4	474	8.4	8.6	名詞・他動詞
2 口利き	89	75	75	0	0	54.3	45.7	1425	6.2	11.5	名詞
3 腰折れ	59	0	0	0	0	100.0	0.0	314	18.8	18.8	名詞
4 先取り	666	5	5	0	0	99.3	0.7	1012	65.8	66.3	名詞・他動詞
5 品定め	44	29	29	0	0	60.3	39.7	159	27.7	45.9	名詞
6 梅雨入り	103	1	1	0	0	99.0	1.0	340	30.3	30.6	名詞
7 手当て	207	141	141	0	0	59.5	40.5	1650	12.5	21.1	名詞・他動詞
8 手洗い	31	11	10	0	1	73.8	23.8	443	7.0	9.5	名詞
9 手書き	63	6	1	0	5	91.3	1.4	1111	5.7	6.2	名詞
10 手作り	246	7	5	0	2	97.2	2.0	2945	8.4	8.6	名詞
11 値上がり	852	1	1	0	0	99.9	0.1	1942	43.9	43.9	名詞・自動詞
12 値上げ	858	46	46	0	0	94.9	5.1	4024	21.3	22.5	名詞・他動詞
13 値下がり	504	0	0	0	0	100.0	0.0	1086	46.4	46.4	名詞・自動詞
14 値下げ	711	28	28	0	0	96.2	3.8	3300	21.5	22.4	名詞・他動詞
15 値引き	105	10	10	0	0	91.3	8.7	832	12.6	13.8	名詞・他動詞
16 前倒し	982	10	4	0	6	99.0	0.4	3850	25.5	25.8	名詞
17 門前払い	67	27	7	0	20	71.3	7.4	449	14.9	20.9	名詞
18 夜逃げ	31	6	6	0	0	83.8	16.2	93	33.3	39.8	名詞・自動詞

表2から、品詞認定の一致している語にも問題がある。例えば、表2の18語で、「L. 品詞認定」が「名詞」と一致しているものは、9語ある。そのうち、「G. 述語用法中のスルの割合」が90%以上のものは「腰折れ、梅雨入り、手書き、手作り、前倒し」の5語である。この5語は「G. 述語用法中のスルの割合」が90%を越えているにも関わらず、品詞認定は「名詞」とされており、「名詞・サ変」のように「サ変」表示はされていない。一方、「夜逃げ」は「G. 述語用法中のスルの割合」が83.8%でありながら「名詞・サ変」と「サ変」が認定されている。このことは、国語辞典の品詞認定とコーパス調査（実態調査）が逆転現象を起こしているようにみえる。少なくとも、表2の国語辞典の品詞認定を見る限り、どんな基準により「名詞・サ変」をつけているのかが曖昧であり、どのようにNV型複合名詞の品詞認定（「名詞」「名詞・サ変」）を行っているのか分からない。辞典執筆者の主観的な判断により品詞認定が行われているように思われる。このような問題を解消あるいは緩和するために、客観的な実態調査によって品詞認定の基準を立てようというのが、以下の4節である。

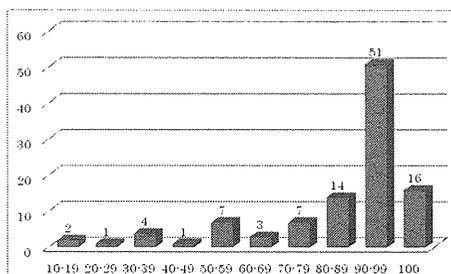
4. 「品詞認定モデル」（「サ変」および「名詞」表示の目安）

本節では、表2のような実態調査に基づき、安定した品詞認定ができるようにす

るための「品詞認定モデル」（「サ変」および「名詞」表示の目安）を提案する。以降では、本稿末尾の「参考資料（NV 型複合名詞 106 語の実態調査）」を、合わせて参照していただきたい。

4.1. NV型複合名詞106語の「G. 述語用法中のスルの割合」別分布

以下に示す図2は、NV型複合名詞106語の「G. 述語用法中のスルの割合」別分布を出したものである。図2では、横軸が「G. 述語用法中のスルの割合」、縦軸が各割合別のNV型名詞の語数を表している。



【図2】NV型複合名詞106語の「G. 述語用法中のスルの割合」別分布

図2より、NV型複合名詞に「スル」（サ変）をとるものは、かなり右よりに偏りがあることが分かる。

4.2. 提案1 積極的に「サ変」表示をつけるための目安

第一の提案は、「サ変」表示をつけるために、「G. 述語用法中のスルの割合」および「K. (NV総数における)述語用法の割合」の値を使用し、次の目安（基準）を用いるというものである（(2)）。

- (2) 「G. 述語用法中のスルの割合」が80%を超えるものには、「サ変」表示をつける。ただし「K. (NV総数における)述語用法の割合」も参照する。

(2)の「80%」という目安を設定した理由は、図2で、「90-99%」を大きな山の頂上とみた時に、「80-89%」が山の裾野にあたと判断したからである。今回は、仮に、「80-89%」を1つの基準として切ってみることにした。実際に、「80-89%」（80%

以上)を1つの基準として切ると、1辞典を除き、2辞典間の品詞認定が一致していることもわかる(例:格上げ,様変わり等)。もし、この基準を図2の「70-79%」(70%以上)で切ると、「G. 述語用法中のスルの割合」が「70-79%」(70%以上)に該当するNV型複合名詞の品詞認定が、3辞典間で一致せず、バラつきが大きくなる。さらに、70%以下のNV型複合名詞については「サ変」表示をつけるかどうか慎重に検討した方がいいだろう。また、「K. (NV総数における)述語用法の割合」も参照する」というのは、「G. 述語用法中のスルの割合」が80%に該当するが、例外であるものの処理を行うためである。例えば、「格付け」「底入れ」のように、「G. 述語用法中のスルの割合」が80%以上のものでも、「K. (NV総数における)述語用法の割合」が低いものを、例外として検討した方が良いと思われる。なぜならば、「K. (NV総数における)述語用法中の割合」が低いものについては、そもそも述語用法としてあまり使われていない(使われにくい)と考えられるからである。「K. (NV総数における)述語用法の割合」を確認すれば、NV型複合名詞の述語用法(「サ変」用法・「ヲスル」用法)が一般的に使用されているものなのかの実態を辞典へ反映させることができるようになると思われる。

以上、「G. 述語用法中のスルの割合」「K. (NV総数における)述語用法の割合」を基準として用いて、(2)のような「サ変」表示の目安を提案した。各国語辞典は本稿の提案した目安をチューニングすることで、実態に基づいた統一のある、より規範的な品詞認定を設定することが可能になってくるのではないと思われる。

4.3. 提案2 名詞用法の多寡と名詞用法の種類

第二の提案は、NV型複合名詞における名詞用法の多寡と、名詞用法の種類分けに関するものである。

表1の分類I~IVの「国語辞典で想定される品詞認定」では、「格助詞のついた一般的な名詞用法」があることからすべて「名詞」とつけた。しかし、実際には、一般的な名詞としての用法の例数が非常に少ないものも含まれている。例えば、「気落ち」の「K. (NV総数における)述語用法の割合」の割合は非常に高く、一般的な名詞用法が稀であることが分かる。実際に、「気落ち」は146語中129語が「スル」用法であり、残る17語の内10語が今回の調査で例外とした「スル」用法、7語が「気落ちはしない」等の「ヲスル」以外の「格助詞のついた一般的な名詞用法」である。このような場合には、品詞表示においては「サ変」とするか、そうでないにしても「(名詞・)サ変」のように、ふつうの名詞としては使われにくいということを反映させる表示もあり得るとと思われる(3a)。一方で、「手作り」のように、「K.

(NV 総数における)述語用法の割合」の割合が高くない、すなわち述語用法ではない普通の名詞用法も多く持つものについては「名詞・サ変」として、名詞用法のあることを示す必要がある ((3b))。

さらに、「K. (NV 総数における)述語用法の割合」が高い複合名詞にも2種類あることに注目したい。例えば、「前置き」は、「気落ち」同様、「K. (NV 総数における)述語用法の割合」の割合が高いが「気落ち」とは異なり、「ヲスル」用法を持っている。「ヲスル」用法のある「前置き」は、品詞上、まずは「名詞」と言うしかないので、「気落ち」の場合のように名詞表示をなくす(あるいは()付けにする)わけにはいかない。しかし一方で、「格助詞のついた一般的な名詞用法」は非常に少なく、「名詞」の大多数が「ヲスル」の形に限定されてしまっているのも、そのことをどこかで記述したい。その際には、例えば「前置き」であれば仮に「名詞・サ変」(ヲスル)などとして、「気落ち」等の場合の表示と区別したい ((3c))。

(3) 名詞用法の多寡による区別と提案する品詞表示

- a. 「K. (NV 総数における)述語用法の割合」が高いもの
…「(名詞・)サ変」(「名詞」をはずす目安)
- b. 「K. (NV 総数における)述語用法の割合」が低いもの
…「名詞・サ変」(「名詞」をつける目安①)
- c. 「K. (NV 総数における)述語用法の割合」が高く、「H. 述語用法中のヲスルの割合」が高いもの。
…「(名詞・サ変) (ヲスル)」(「名詞」をつける目安②(「ヲスル」表示))

4.4. **提案3** 「作文支援」型国語辞典

最後に、**提案1****提案2**を用いた、「作文支援」型国語辞典の構築を提案する。「作文支援」型国語辞典とは、日本語学習者(日本語母語話者・日本語非母語話者両方)が作文をする際の「助け」となることを目指す辞典である。

「作文支援」型国語辞典の構築に**提案1****提案2**を用いることには二つの利点がある。第一に、当該語が「名詞」であるか「名詞・サ変」であるかという点に関して妥当な品詞認定を行うことができる。第二に、「スル」よりも「ヲスル」という形式の方がより一般的であるとの情報を、注記等を通じて学習者(日本語母語話者・日本語非母語話者)に向けて示すことが可能になる。例えば、**提案2**の(3c)によって、従来の「名詞」という品詞認定だけではなく、「ヲスル」表示をつける

ための目安をつけることが可能となる（例：前置き）。また、「H. 述語用法中のヲスルの割合」が高いもの（すなわち「ヲスル」が付きやすいもの（例：腕組み、背伸び）についても、単に品詞表示を「名詞」とするだけでなく、注記等で「ヲスル用法が多い」とその旨記述をしたい。NV 型複合名詞に関わらず、漢語でも外来語でも「スル」をとるのか「ヲスル」をとるのかは日本語母語話者でさえ判断しかねることから、これらの情報は日本語学習者（日本語母語話者・日本語非母語話者両方）にとって有用な情報になり、「作文支援」型国語辞典構築のために役立つと思われる。

なお、石塚(2013)の、「雨漏り、日持ち」のような「ガスル」をとるもの（「する・がする兼用型」）や「息切れ、心変わり」のような「する・をする・がする兼用型」についても、漢語および和語に共通して稀な存在であり、NV 型複合名詞では限られているため、その旨を「作文支援」型国語辞典の注記等で記述することにより、日本語学習者（日本語母語話者・日本語非母語話者両方）が作文をする際の「助け」となる。

5. まとめと今後の課題

本稿では、「名詞」「名詞・サ変」の品詞認定を決定する際の目安を提案した。NV 型複合名詞の「NV 総数における述語用法中の割合」「述語用法中のスルの割合」を利用した目安は、あくまでも筆者の提案であるが、同様の手法をもってすれば、和語の NV 型複合名詞に限らず、漢語や外来語においても、現在の国語辞典の品詞認定よりもより実態に近い、統一的な品詞認定を行う事が可能になる。そうなれば、従来重視されてこなかった、日本語学習者の「作文支援」型国語辞典構築につながってゆくと思われる。

今後は、「作文支援」型国語辞典を構築するために、「今、日本語学習者が作文をする際に必要な情報／欲しい情報」とはどんなものか、NV 型複合名詞に限らず、調査を行うつもりである。どのような情報を、どのような形で「作文支援」型国語辞典へ記述すれば、日本語学習者（日本語母語話者・日本語非母語話者両方）にとってより有益となるか、引き続き検討し、出来るものから実際に記述を行っていききたい。

参考文献

- 石塚直子(2011)「「名詞+和語動詞連用形+する」型の複合サ変動詞に関する研究」
筑波大学修士(言語学)学位論文
- 石塚直子(2013)「和語サ変動詞の用法と格表示」『筑波日本語研究』17
- 伊藤たかね・杉岡洋子(2002)『英語学モノグラフシリーズ 16 語の仕組みと語形成』
研究社
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房
- 影山太郎(1999)『日英語対象による英語学演習シリーズ2 形態論と意味』くろし
お出版
- 北原保雄(編)(2003)『明鏡国語辞典 携帯版』大修館書店
- 北原保雄(編)(2010)『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 金田一春彦・金田一秀穂(編)(2012)『学研現代新国語辞典 改訂第五版』学研
- 西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫(編)(2011)『岩波国語辞典 第七版新版』岩波書
店
- 矢澤真人・石塚直子(2013)「作文支援型国語辞典の開発について」第1回「作文を
支援する語彙・文法事項に関わる研究」プロジェクト 発表資料
- 楊高郎(2010)『自他両用の漢語動詞に関する研究』筑波大学修士(言語学)学位論
文

コーパスデータ

『CD-毎日新聞』日外アソシエーツ(1999年～2007年度版)

[付記] 本稿は、第43回語彙・辞書研究会の内容に加筆・修正を加えたものである。発表の席上コメントを下された方々に感謝申し上げます。

参考資料

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
NV型 動名詞	スル	サスル 合動 (O+E+F)	ヲスル	ガスル	ニスル	延用語中の スルの割合 (G+B+(H+C))	延用語中の ヲスルの割合 (H+D+(E+C))	NV 総数	スル系有率 (NV総数) (J+B+H)	延用語 の割合 (G+(H+C)+B)	明名 動詞	岩名 動詞	字源型代 名詞	五段が減少する 品詞(漢字)
1 味付け	170	63	54	0	8	73.0	23.2	833	20.4	28.0	名詞・他動詞	-	名詞・他動詞	判断保留
2 足踏み	270	30	30	0	0	88.0	12.0	1026	21.4	24.4	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
3 嗅見	38	29	39	0	0	49.4	50.6	164	22.2	47.0	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
4 後退い	35	14	14	0	0	71.4	28.6	201	17.4	24.4	名詞	-	-	判断保留
5 後押し	2020	49	49	0	0	37.6	2.4	3733	53.3	9.4	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
6 後戻り	77	3	3	0	0	96.3	3.8	488	15.8	16.4	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
7 穴埋め	545	35	34	0	1	94.0	5.3	1404	38.8	41.3	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
8 天下り	279	7	6	0	1	37.6	2.1	2863	3.4	3.7	名詞・自動詞	名詞	名詞	判断保留
9 息切れ	185	10	1	9	0	84.8	0.5	521	34.8	36.7	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
10 色分け	123	4	3	0	1	36.9	2.4	373	33.0	34.0	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
11 絞込み	61	55	55	0	0	52.6	47.4	153	39.3	75.8	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
12 裏打ち	40	1	1	0	0	97.6	2.4	474	8.4	8.6	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
13 上積み	482	10	10	0	0	98.0	2.0	1744	27.6	28.2	名詞・他動詞	名詞(「言葉」)	名詞・他動詞	判断保留
14 思慮し	38	158	158	0	0	19.4	80.6	1378	2.8	14.2	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
15 色上げ	346	0	0	0	0	100.0	0.0	819	42.2	42.2	名詞・他動詞	名詞(「言葉」)	名詞・他動詞	判断保留
16 格下げ	148	2	1	0	1	98.7	0.7	863	17.3	17.5	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
17 格付け	122	16	16	0	0	88.4	11.6	2380	5.1	5.8	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
18 降下し	31	3	3	0	0	91.2	8.8	59	52.5	57.6	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
19 肩入れ	108	6	6	0	0	94.7	5.3	205	52.7	56.6	名詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
20 肩代わり	640	27	27	0	0	96.0	4.0	1825	42.0	43.7	名詞・他動詞	名詞(「言葉」)	名詞・他動詞	判断保留
21 勘違い	697	37	37	0	0	95.0	5.0	1635	41.1	43.3	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
22 気遣い	118	3	0	3	0	87.5	0.0	210	56.2	57.6	名詞・自動詞	名詞(「言葉」)	名詞・自動詞	判断保留
23 気遣ち	129	0	0	0	0	100.0	0.0	146	88.4	88.4	名詞・自動詞	名詞(「言葉」)	名詞・自動詞	判断保留
24 気兼ね	63	5	5	0	0	92.6	7.4	225	28.0	30.2	名詞・自動詞	名詞(「言葉」)	名詞・他動詞	判断保留
25 気配り	47	42	42	0	0	52.8	47.2	817	5.8	10.8	名詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
26 送り	321	1	1	0	0	99.7	0.3	708	45.3	45.4	名詞・自動詞	-	名詞・自動詞	判断保留
27 口利便	88	75	75	0	0	54.3	45.7	1425	6.2	11.5	名詞	名詞	名詞	判断保留
28 口出し	96	21	21	0	0	82.1	17.9	966	36.1	44.0	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
29 口止め	53	15	15	0	0	77.9	22.1	327	16.2	20.8	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
30 区分け	70	2	2	0	0	97.2	2.8	211	33.2	34.1	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
31 膝折れ	59	0	0	0	0	100.0	0.0	314	18.8	18.8	名詞	名詞	名詞	判断保留
32 子育て	150	283	281	0	2	34.6	64.9	7050	7.1	6.1	名詞・自動詞	名詞	名詞	判断保留
33 衣替え 衣更え	502	11	11	0	0	97.9	2.1	910	55.2	56.4	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
34 根負け	81	0	0	0	0	100.0	0.0	115	70.4	70.4	名詞・自動詞	名詞(「言葉」)	名詞・自動詞	判断保留
35 逆立ち	37	5	5	0	0	88.1	11.9	107	34.6	39.3	名詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
36 先送り	2298	82	16	0	66	96.6	0.7	7086	32.4	32.6	名詞・他動詞	名詞(「言葉」)	名詞・他動詞	判断保留
37 先取り	666	5	5	0	0	99.3	0.7	1012	65.8	66.3	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
38 先取り	64	0	0	0	0	100.0	0.0	256	25.0	25.0	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
39 先回り	69	15	15	0	0	82.1	17.9	109	63.3	77.1	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
40 作り手	35	0	0	0	0	100.0	0.0	530	15.2	15.2	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
41 星取り	279	11	11	0	0	96.2	3.8	945	29.5	30.7	名詞・自動詞	名詞(「言葉」)	名詞・自動詞	判断保留
42 榎実入り	565	1	1	0	0	99.8	0.2	956	66.0	66.1	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
43 下掛け	35	24	21	0	3	59.3	35.6	2244	1.6	2.6	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
44 品定の	44	29	29	0	0	60.3	39.7	159	27.7	45.9	名詞	名詞	名詞	判断保留
45 尻込み	109	4	4	0	0	96.5	3.5	150	72.7	75.3	名詞・自動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
46 昔懐び	112	66	66	0	0	62.9	37.1	290	38.6	61.4	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
47 床上げ	151	12	12	0	0	92.6	7.4	973	15.5	16.8	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
48 底入れ	39	0	0	0	0	100.0	0.0	393	3.9	3.9	名詞・自動詞	-	名詞・自動詞	判断保留
49 組上げ	400	70	0	0	0	85.0	0.0	1125	35.6	41.8	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
50 刀負け	111	4	4	0	0	96.5	3.5	272	40.8	42.3	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
51 梅雨明け	88	0	0	0	0	100.0	0.0	501	17.6	17.6	名詞・自動詞	名詞	名詞	判断保留
52 梅雨入り	103	1	1	0	0	99.0	1.0	340	30.3	30.6	名詞	名詞	名詞	判断保留
53 手当て	207	141	141	0	0	59.5	40.5	1650	12.5	21.1	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
54 手洗い	31	11	10	0	1	73.8	23.8	443	7.0	9.5	名詞	名詞	名詞	判断保留
55 手書き	63	6	1	0	5	91.3	1.4	1111	5.7	6.2	名詞	名詞	名詞	判断保留

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
NV型 動名詞	スル	サスル 合動 (O+E+F)	ヲスル	ガスル	ニスル	延用語中の スルの割合 (G+B+(H+C))	延用語中の ヲスルの割合 (H+D+(E+C))	NV 総数	スル系有率 (NV総数) (J+B+H)	延用語 の割合 (G+(H+C)+B)	明名 動詞	岩名 動詞	字源型代 名詞	五段が減少する 品詞(漢字)

品詞認定に対するコーパス利用の貢献 (石塚直子)

A NV型 動名詞	B スル ル	C オ D+E+F	D スル	E ガスル	F ニスル	G 延活用中の スルの割合 (C+E+D+C)	H 延活用中の スルの割合 (H+D+H+C)	I NV 動	J スル活用率 (NV総数) (J+H+J)	K 延活用中の 割合 (C+E+D+C)	L 明確 動詞	M 岩窟 動詞	N 字綴接尾 新動詞	O 石塚が提案する 品詞認定(後承)
56 手探り	30	1	1	0	0	96.8	3.2	646	4.5	4.8	名詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
57 弟子入り	143	0	0	0	0	100.0	0.0	287	49.8	49.8	名詞・自動詞	-	名詞・自動詞	名詞・サ変
58 手廻り	505	274	273	0	1	64.8	35.0	1562	32.3	49.9	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留	判断保留
59 手作り	246	7	5	0	2	97.2	2.0	2345	8.4	8.6	名詞	名詞	名詞	名詞・サ変
60 手揉み	35	646	644	0	2	12.8	86.9	15630	0.6	4.7	名詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
61 手直し	121	28	28	0	0	81.2	18.8	403	30.0	37.0	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
62 手拭き	57	42	42	0	0	57.6	42.4	858	6.6	11.5	名詞・他動詞	名詞	名詞	判断保留
63 手引き	60	13	12	0	1	82.2	15.4	402	14.9	18.2	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
64 手揉ぎ	45	10	10	0	0	81.8	18.2	73	57.0	69.6	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	名詞・サ変
65 手分け	147	5	5	0	0	96.7	3.3	171	86.0	88.9	名詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	名詞・サ変
66 綱上げ	42	15	13	0	0	68.3	31.1	769	5.5	7.9	名詞・他動詞	名詞(・ラ変)	名詞・他動詞	判断保留
67 仲立ち	41	6	6	0	0	87.2	12.8	171	24.0	27.5	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
68 仲間入り	92	161	161	0	0	36.4	63.6	594	15.5	42.6	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
69 肉切り	60	9	9	0	0	87.0	13.0	156	39.5	44.2	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
70 籠上げ	952	1	1	0	0	99.9	0.1	1942	43.9	43.9	名詞・自動詞	名詞・自動詞	名詞・自動詞	判断保留
71 籠上げ	858	46	46	0	0	94.9	5.1	4024	21.3	22.5	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
72 籠下がり	504	0	0	0	0	100.0	0.0	1086	46.4	46.4	名詞・自動詞	名詞・自動詞	名詞・自動詞	判断保留
73 籠下がり	711	28	28	0	0	96.2	3.8	3300	21.5	22.4	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
74 籠引き	105	10	10	0	0	91.3	8.7	832	12.6	13.8	名詞・他動詞	名詞・他動詞	名詞・他動詞	判断保留
75 根回し	45	45	45	0	0	50.0	50.0	659	6.8	13.7	名詞・他動詞	名詞・自動詞	名詞	判断保留
76 橋渡し	57	144	144	0	0	28.4	71.6	812	7.0	24.2	名詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
77 旗揚げ	380	1	1	0	0	99.7	0.3	825	46.1	46.8	名詞・自動詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	名詞・サ変
78 符合わせ	68	2	2	0	0	97.1	2.9	178	53.1	54.7	名詞・自動詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	名詞・サ変
79 人見知り	36	14	14	0	0	72.0	28.0	129	27.9	38.8	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
80 人預け	368	8	8	0	0	97.9	2.1	741	49.7	50.7	名詞・自動詞	名詞	名詞(・ラ変)	名詞・サ変
81 壁登	44	88	88	0	0	33.3	66.7	490	3.0	26.9	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
82 船出	105	13	13	0	0	89.0	11.0	595	17.6	26.8	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
83 棒読み	50	1	0	0	1	98.0	0.0	195	25.6	26.2	名詞・他動詞	名詞(・ラ変)	名詞・他動詞	判断保留
84 前置き	421	13	13	0	0	97.0	3.0	508	82.9	85.4	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	名詞・サ変(ラ変)
85 前押し	982	10	4	0	6	99.0	0.4	3850	25.5	25.8	名詞	名詞	名詞	判断保留
86 前払い	89	5	4	0	1	94.7	4.3	401	22.2	23.4	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
87 間取り	113	3	3	0	0	97.4	2.6	169	66.9	68.6	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	名詞・ラ変
88 間延び	54	0	0	0	0	100.0	0.0	74	73.0	73.0	名詞・自動詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	名詞・ラ変
89 水揚げ	58	1	1	0	0	98.3	1.7	570	10.2	10.4	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
90 水払い	133	12	12	0	0	91.7	8.3	260	51.2	55.8	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	名詞・ラ変
91 水回し	712	8	8	0	0	98.9	1.1	2627	27.1	27.4	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
92 身置き	55	5	5	0	0	91.7	8.3	106	51.9	56.6	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	名詞・ラ変
93 耳打ち	84	3	3	0	0	96.6	3.4	145	57.9	60.0	名詞・他動詞	名詞	名詞・自動詞	名詞・ラ変
94 目移り	50	2	0	2	0	96.2	0.0	61	82.0	85.2	名詞・自動詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	(名詞)ラ変
95 目渡し	50	110	110	0	0	31.3	68.8	400	12.5	40.0	名詞・他動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
96 目配り	124	27	27	0	0	82.1	17.9	432	28.7	35.0	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
97 目送り	327	0	0	0	0	100.0	0.0	526	62.2	62.2	名詞・自動詞	名詞(・ラ変)	名詞・自動詞	名詞・ラ変
98 榎榎替え	44	13	13	0	0	77.2	22.8	142	31.0	40.1	名詞	-	名詞・他動詞	判断保留
99 門前払い	67	27	7	0	20	71.3	7.4	449	14.9	20.9	名詞	名詞	名詞	判断保留
100 山分け	41	1	0	0	1	97.6	0.0	110	37.3	38.2	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
101 橋渡し	51	0	0	0	0	100.0	0.0	182	28.0	28.0	名詞・自動詞	名詞	名詞・自動詞	判断保留
102 横切り	54	2	0	0	2	96.4	0.0	147	36.7	38.1	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留
103 横取り	51	0	0	0	0	100.0	0.0	127	40.2	40.2	名詞・他動詞	名詞(・ラ変)	名詞・他動詞	判断保留
104 橋渡し	103	2	2	0	0	98.1	1.9	409	25.2	25.7	名詞・他動詞	名詞(・ラ変)	名詞・他動詞	判断保留
105 夜逃げ	31	6	6	0	0	83.8	16.2	83	33.3	29.8	名詞・自動詞	名詞・自動詞	名詞・自動詞	判断保留
106 陸揚げ	67	0	0	0	0	100.0	0.0	246	27.2	27.2	名詞・他動詞	名詞	名詞・他動詞	判断保留

いしつか なおこ／人文社会科学研究所

(2013年10月31日 受理)